

## 日本生体医工学会 平成 29 年度第 2 回理事会議事録

日時：平成 29 年 8 月 18 日（金） 15:00～17:00

会場：コンベンションホールA P 東京八重洲通り 11 階 O ルーム

### <出席者>

理事長：杉町 勝

副理事長：大城 理（兼関西支部長），山家 智之

理事：佐久間 一郎（兼関東支部長），中村 真人（兼北陸支部長），松本 健郎，  
村垣 善浩，守本 裕司，川田 徹，木村 裕一，佐藤 嘉伸，野村 泰伸，

監事：牧川 方昭，吉田 正樹

### <オブザーバー・出席者>

幹事：原口 亮

オブザーバー：磯山 隆（事務局長），工藤 信樹（北海道支部長），  
長谷川 純一（東海支部長），井上 勝裕（九州支部長），  
岡本 英治（第 57 回大会長），椎名 毅（第 60 回大会長）

### <欠席者>

理事：橋爪 誠，花房 昭彦，石原 謙（兼中国四国支部長），黒田 知宏，  
平田 雅之，松田 哲也

監事：澤 芳樹

幹事：京相 雅樹

### <配布資料>

#### 議事次第

資料 29-2-2-1 平成 28 年度定時社員総会議事録

資料 29-2-2-2 平成 29 年度第 1 回理事会議事録

資料 29-2-3 入退会審査対象者，名誉会員推薦書 ※回覧資料

資料 29-2-4 各委員会・WG 構成

資料 29-2-5-2 第 23 回第 1 種 ME 技術実力試験解答例

資料 29-2-5-3 第 23 回第 1 種 ME 技術実力検定試験結果

資料 29-2-6 論文複写料徴収の委託について・論文 PDF からのロック解除教育

資料 29-2-7 生体医工学サマースクール 2017 準備状況について

資料 29-2-8 生体医工学活性化委員会理事会報告

資料 29-2-9 第 57 回全国大会準備状況

資料 29-2-10-1 若手ワーキンググループ 医工連携プラットフォーム設立について

資料 29-2-10-2 若手ワーキンググループによる YIA セッション設立の提案  
資料 29-2-10-3 若手研究者活動 WG 補足資料  
資料 29-2-10-3.2 若手研究者活動 WG 補足資料-2  
資料 29-2-11 理事会報告・審議事項（作成：佐久間理事）  
資料 29-2-11-1 日本臨床工学技士会との連携について  
資料 29-2-11-2.1 日本医学物理学会との連携について  
資料 29-2-11-2.2 WC 招致準備会 メンバー  
資料 29-2-11-2.3 IFMBE Council of Societies Meeting  
資料 29-2-11-2.4 Call for IFMBE Nominations  
資料 29-2-11-2.5 Nomination for Elections in 2018  
資料 29-2-11-2.6 APRNF Program Funding Guidelines  
資料 29-2-11-2.7 APCBME2017-ICIBEL2017 Call for Papers  
資料 29-2-11-3 生体医工学と健康情報学の統合拠点形成  
資料 29-2-11-4.1 第 83 回日本循環器学会学術集会 企画案募集について  
資料 29-2-11-4.2 第 83 回日本循環器学会学術集会（2019 年・横浜）セッション企画案  
資料 29-2-11-5.1 日本不整脈心電学会学術大会 過去大会プログラム一覧  
資料 29-2-14-1 生体医工学サマースクール 2017 選奨申請  
資料 29-2-14-2 若手研究者活動 WG より YIA の申請  
資料 29-2-14-3 選奨申請書（北海道支部 2017）

#### 1. 理事会成立の件（総務）

理事 12 名の参加，監事 2 名の参加が報告され，理事会成立が宣言された。

#### 2. 前回議事録承認の件（総務，審議事項）

杉町理事長より，資料 29-2-2-1（見出しを平成 29 年度定時社員総会議事録案に修正），資料 29-2-2-2 に基づき，前回議事録が確認され，承認された。

#### 3. 入退会状況の件，名誉会員推薦の件（会員，審議事項）

杉町理事長より，回覧資料に基づき，入退会状況報告があった。岩田彰氏の名誉会員への推薦が承認された。

#### 4. 各種委員会の構成（全委員会・WG 審議事項）

杉町理事長より，資料 29-2-4 に基づき説明があり，承認された。現時点で委員が未決定の委員会については委員長・副委員長のみで委員会発足として取り扱い，委員の追加については後日メール審議等を行うこととした。公益法人化対応 WG は 3 年後に予定される査察対応のために継続することとした。

5. 第23回第1種ME技術実力検定試験について（ME技術教育，報告事項）

守本理事より資料29-2-5-3に基づき報告があった。受験者数が減少傾向にあり，啓発活動を行う計画であることが報告された。

6. 論文複写料徴収の委託・論文公開用PDFからのロック解除（編集委員会，報告・審議事項）

木村理事より，資料29-2-6に基づき説明があった。論文複写料の徴収について学術著作権協会（JAC）に委託することが承認された。

7. 生体医工学サマースクール2017準備状況について（教育，報告事項）

野村理事より，資料29-2-7に基づき説明があった。サマースクールをハッカソン形式で継続するかについて別途検討する予定である。

8. 生体医工学活性化委員会理事会報告（生体医工学科連絡，報告事項）

吉田副委員長より，資料29-2-8に基づき説明があった。4. 夢ナビライブは特に盛況であった。ブース展示内容を充実化させることについて今後検討することになった。

9. 大会参加費について（第57回大会，報告事項）

岡本大会長より，資料29-2-9に基づき説明があった。参加費にコメディカルのカテゴリーを設けることが報告された。UMINでの演題登録について，COI・倫理委員会承認・著作権譲渡を登録画面上で行えるようにする予定が報告された。

野村理事より，大会Webページを永続的に残す方策について問題提起がされ，引き続き検討することとなった。

村垣理事より，コメディカルの名称の使用は昨今は不適切であることからメディカルスタッフ等の名称に変更することが提案された。

10. 若手ワーキンググループ（若手研究者活動WG，審議事項）

杉町理事長より資料29-2-10-1，29-2-10-3，29-2-10-3.2に基づき説明があった。講演会事業の設立について承認された。加えて講演会を数回実施したのちに理事会にて報告を行うこと，研究会の参加者に対して秘密保持・目的外使用禁止を担保することについて，若手WGで検討することとした。YIAセッションについて資料29-2-10-2に基づき説明があり，承認された。

11. 国際その他（国際その他，報告・審議事項）

佐久間理事より，資料29-2-11-1に基づき報告と審議があった。

- (1) IFMBEに加盟した日本臨床工学技士会との連携について，交渉担当理事を国際化担当理事とME教育担当理事とすることとした。
- (2) 日本医学物理学会と相互に賛助会員となる件について承認された。

- (3) IFMBE World Congress 招致準備会を発足させることが承認された。ただし開催予想時期が 2030 年とかなり先なので、若手のメンバーを加えるとともに、Conference に参加してもらうことが提案された。
- (4) IFMBE Council of Societies の定常的な登録メンバーの人選について、引き続き議論することとなった。ミーティング参加のための旅費の支弁について、国際化委員会から提案して理事会に提案し次年度の予算に組み込む方向で検討することになった。
- (5) 日本循環器学会との連携について、資料 29-2-11-4.2 に示す内容のセッション企画提案が採択された場合には、日本生体医工学が協賛する方向で進めることが承認された。
- (6) 日本不整脈心電学会との連携について、資料 29-2-11.5.1 に示すシンポジウム企画について、日本生体医工学学会との共同企画として提案することが承認された。

## 12. 2019 年学会大会の開催について（第 58 回大会運営委員会，報告事項）

佐久間関東支部長より、資料 29-2-11 に基づき現在の準備状況について説明があった。沖縄での開催であることから現地で運営を担当する研究室や学生の確保が困難ではないかという問題提起がされ、引き続き議論することとなった。

## 13. 規約関係（規約，審議事項）

佐久間理事より現状報告。現行の規約一覧を関係者で共有することとなった。

## 14. 選奨について（選奨，審議事項）

松本理事より資料 29-2-14-1, 29-2-14-2, 29-2-14-3 に基づき説明があり、いずれも承認された。ナンバリングを和暦から西暦に変更することも合わせて承認された。第 1 回理事会で承認された生体医工学シンポジウム 2017 ポスターアワードのナンバリングについても、和暦の 29-001 から西暦に変更することになった（事後付記：2017-001 がすでに他の賞に付番されているため 2017-002 に変更）。

## 15. その他

- 大城理事より、理事会のネットワークを利用しての会場外参加について検討状況が報告された。遠隔からの参加であっても理事会出席として認められることが確認された。